



人財育成のために

変化が激しく、先行きも不確実で複雑な時代において、困難を乗り越え、力強く未来を切り開く人財を育成することが急務となっています。当社の人財育成に対する考え方は「フジタが求める人財像」に基づいており、これらを実現するための「人財育成体系」は「場を与えるOJT」をベースとしながら、OFF・JTで必要なビジネス能力の習得や、専門技術力のさらなるレベルアップを図るさまざまな研修を組み合わせることで実施しています。また、社員のキャリア形成のため計画的に複数のキャリア（職務・職場）を経験させるとともに、自律的キャリア形成を支援する「キャリア申告制度」を設け本人の将来目標を確認し、実現に向けたフォローを行なっています。

新たな人財開発・イメージ



2022年度人財育成に関する研修実績(全体)

のべ受講者数	6,655名
のべ研修時間	87,338時間
総研修費用	532,296千円
一人あたりの研修時間	13.12時間
一人あたりの研修費用	79,984円

専門教育の強化に向けて

当社では、社員の実務能力アップと判断力の養成を目的として、社内外の講師による研修「圧倒的教育」を行なっています。さらに、「35歳で作業所長を務める人財」と「大型プロジェクトをマネジメントできる人財」の育成を強化するため、全社横断的な取り組みとして専門教育の見直しを図っています。

見直しにあたっては「インストラクショナルデザイン(研修設計)」の考え方に基づき、育成対象者の視点で見た職務分

析を基点に、ニーズの抽出・研修コンテンツ設計、ツール選定、そして社内講師の育成に至るまで、研修改善に取り組んでいます。この改善プロジェクトを通じて、より効果的な技術伝承方法や技術力向上教育のあり方をブラッシュアップしています。

また、より効果的な研修手法としてアクティブラーニングを取り入れ、受講者同士でのディスカッションやグループワークを用いて、自ら主体的・能動的に考える力、他者理解、相互コミュニケーション力も強化する仕組みとしています。

各種教育の実施

リカレント・リスキリング

デジタル化や外部環境の急激な変化に応じて、個人に求められるスキルも多様化しています。当社は、希望する従業員がいつでも自由に学び直しができる「リカレント・リスキリングプログラム」を提供しています。また、これらのプログラムを各研修と組み合わせることで、自発的な学習への意欲向上と自律的なキャリア構築といった一人ひとりの意識向上も期待しています。

主なプログラム

- 学びライブラリー
- DXオンライン学習講座
- 英語オンライン学習講座

環境教育

多様化・複雑化する環境問題に積極的に取り組む「人づくり」の一環として、当社ではeco検定取得を推進しており、2022年度は取得率目標55%に対し62.3%を達成しました。

また、2022年度は全社員を対象に環境経営や当社の環境活動についての教育を行いました。専門教育では、環境関連法令や環境事故防止に重点を置いた環境関連の総合教育を実施し、e-ラーニングで理解度を確認しています。こうした体系的な教育プログラムを通じて環境経営の基盤強化を継続していきます。

そのほかの各種教育

- ▶ P30 従業員教育・事業主教育(安全)
- ▶ P35 従業員に対する健康教育
- ▶ P44 ハラスメント防止・人権意識の向上に向けて
- ▶ P45 従業員研修の実施(コンプライアンス)